

2022. 7. 7. 『七夕神事』



2022年7月1日、大野湊神社に出現した、まだちょっと淋しい(笑)七夕飾りです^^

「ささの葉さ~らさら」ではじまる、七夕まつりの歌^^

いつまで毎年口ずさんでいたのか？(小六位かな?)思い出せないほど昔の事になりますが
久しぶりに歌ってみると、なんと！これまでで一番シックリくる！！感じ。。超ワクワクしてきます？

大丈夫かしら私…(暑いので~?)でもありますが、そう言えば、職場の食堂に飾られていた

小さな七夕飾りにドキッ! キラキラした希望の光、清新な風のようなものを感じ

ひとり心ときめかせていたのです^^

今年の七夕は、きっと素晴らしいことが起こる!!!そんな気がしてきました!!

“七夕”について、改めて調べてみると、

自身の前回コンテンツ『かけがえのない地球』との、思わぬつながりがみえてきました

その時も、何故か「かごめかごめ」という、おなじみの童謡が浮かんで来て(精神年齢がそこ?)

かごめ歌には、アセンションの大きな秘密が隠されているのでは?!という、発見がありました!^^

歌詞の一部である、「夜明けの晩」について (下記ウィキペディアより)

ほとんどの神事は、「夜明けの晩」(7月7日午前1時頃)に行うことが常であり、

祭は7月6日の夜から7月7日の早朝の間に行われる。

午前1時頃には、天頂付近に主要な星が上り、天の川、牽牛星、織女星の三つが
最も見頃になる時間帯でもある。

全国的には、短冊に願い事を書き、葉竹に飾ることが一般的に行われている。

短冊などを笹に飾る風習は、夏越の大祓に設置される茅の輪の両脇の笹竹に因んで江戸時代から始まったもので、日本以外では見られない。

自身が感じていた「夜明けの晩」は、「日の出直前」の意であり、それは人の中心太陽である“魂”(ハイアーセルフ、真の自己)が、今まさに輝き出でんとする時で「鶴と亀がすべった」=「二極が統合された」時なのでは?...

「夜明けの晩」とは、7月7日午前1時頃を指し、ほとんどの神事がこの時行われる とあるように

神界において、とても重要な意味をもつ座標である事を、今回はじめて知りました

(天の川銀河の人型生命体の故郷“琴座”、その主星“ベガ”<織姫星>は、銀河宇宙を統轄する“菊理姫”の星でもある?)

天の川をはさんで、離れ離れになっていた“彦星”(牽牛)と“織姫”が会うという“七夕”——

彦星は“ニギハヤヒ”(男性性)の、織姫は“セオリツヒメ”(女性性)の象徴とも言われ

まさに七夕は、大きな二極(根源の愛の源ではたった一つであった、双子の魂)が

再び統合される時であり、豊潤な白い光(ミルク、母乳)の“ミルキーウェイ”

私達の住む“天の川銀河”、そして全宇宙がスパークする(喜び弾ける)、ワクワクの瞬間なのでは?^^

大野湊神社の手水舎前に設置された、茅の輪です



毎月1日が平日の場合は、早朝、“白山比咩神社おついたちまいり”に出かけた後にこちらに立ち寄り、月初めのご挨拶をし、職場へと向かいます

白山さんの茅の輪は、本殿へと向かう参道に設けられていますが、こちらもいい感じ?

手水舎は日々の、茅の輪は上半期全体における、大切な“祓”の場であり

織姫さま“瀬織津姫”(祓戸四神の一柱)の御働きでもあります^^

大野湊神社本殿には三つの社が祀られていて、三社の内の一つである神明社の御祭神が

“天照皇大御神”、その相殿神が“瀬織津姫”です

私には、日本の総氏神である伊勢内宮、そして荒祭宮がイメージされる

白山さんにとっての、大切な場である気がしています^^

五色の短冊を笹に飾るのは、茅の輪からきていて、日本にしか見られない風習との事

な〜んにも知らないで、短冊に願い事だけ書いていた、少女時代の私でした^^



ささの葉さらさら のきばにゆれる お星さまきらきら きんぎん^{きんぎん}砂子
五しきのたんざく わたしがかいた お星さまきらきら 空からみてる

五色の短冊は、五行説(木・火・土・金・水、古代中国で成立した自然哲学の基礎概念)

からきているとされ、他にも、地・水・火・風・空のような五大元素や

五大陸(地球上に存在する大陸を五つに分けた区分、オリンピックの五つの輪)

また、七夕もその一つに数えられる五節句(季節の変わり目に行われる祓いの行事)等

地球本来の、健やかな在り方を象徴するものであり、その祈りでもあるのではないのでしょうか？

そして、中今(全てが今ここにあるゼロポイント、新しい始まりの時)、自身がこの言霊に感じる意味とは――

地球の創始に、私(達、一人一人)が、心を込めて書いた“五色の短冊”…

永遠なる、健やかなる、“愛(皇)の星地球”創成の、深い祈り――

宇宙中の、煌めく星々(神々)が、しずかに見守る、その中で…。

これが、“七夕神事”の深意(神意)でもあり

それは、真の私達＝“根源(神)の子供”が描く、壮大な宇宙ロマン！！第二の神話の始まり――

＝新しいアカシックの創成！！(究極の愛の根源アセンションプロジェクト！！)

地上セルフが童謡『たなばたさま』に感じた、大きな胸のトキメキ・ワクワクの理由なのではないでしょうか！

童謡は、神が、“神の子”に託した、愛の謎解き歌？なのかもしれません^^

大野農神社は

金沢市の天然記念物に指定されている“寺中の森”の中心であり

傍に、大野緑地公園となっている美しい池があります

その日、そこで感じたのは、大宇宙との一体化？！ 再び注ぐ歓喜の嵐？！

感極まり、思わず両手を振り上げ、カッツポーズをした私…

その理由も、今わかりました^^



2021年8月8日、“ライオンズゲート”のエネルギーワークを行ったのもこの場所であり

根源の光が、銀河の中心を通過して地上に降り注ぐゲート！

根源が動けば、全天の星(88星座)も動く！地球に莫大な光が押し寄せる！！

私達がハートを開き、愛を贈れば、その何倍もの、∞の愛が返ってくる！

宇宙唯一の法とされる、“愛の(共鳴)の法則”を、全身全霊で感じることでできる“中今の地球”です^^

大野湊神社は、道開きの神と言われる“猿田彦大神”で知られる神社ですが

そのはじまり、中心には、神明社御祭神“天照皇大御神”があり

その源が、NMCの核心、根源の究極の愛の母神なる“根源天照皇太神”です^^

根源太陽の元に、全天界(全宇宙)が集う“マルテンジウ”

新しい愛の宇宙(NMC)の創成システム、“新G(WBH)”の眩い光がイメージされます



自身のNMC創成プロジェクト『根源アセンションプロジェクト HAKU(hamu) SUN』における

中今の“新G(WBH)”は、こんな感じ↓(笑)

根源の、∞の創造の力、真白きフオンの山“白山”と、その中心に見えるのは、根源の愛の子供“ハム”

またの名を(神界名)“白山菊理姫”！とも^^

(かごめ歌で言うと…瀬織津姫の後ろの正面が菊理姫であり、その(究極の)後ろの正面が、根源天照皇太神！)



愛と光と笑い(ドタバタ?)の、新地球創成プロジェクトです！

短冊に、地上セルフの中今の3つの願いを書きました~(2017年に掲げた願いもあわせて、もう叶っている?!…)

最高の夢(新アカシック)を、共に協働創造してくれる全宇宙の仲間に、∞の愛と感謝を込めまして

ハム(愛)・ハム(愛)・オー——！！！！ (^o^)/



世界中の美しい聖地を訪れ、
全宇宙高次のエネルギーの雛形である“新地球”に、
エネルギーワーク(神事)をします！

愛(根源)から生まれた全ての人が
再び愛の故郷へと、帰っていくことのできる道
“皇(根源の愛)の学校”を創成します！

「中今のハム山」が、アニメ(映画)になり
みんなのハートの中心から「ハム」が飛び出す?!
ハムパンデミック社会が誕生します！

わ〜い、大野湊神社の七夕さまに、飾らなくちゃ！

2022.7.3 皇美



7月6日、

大野湊神社へと向かう車の中で、三羽のカラスさんに
囲まれ、身動きがとれなくなりました…。

ラッシュ時に混雑する、大きな交差点の真ん中！

一歩も引かない、カラスさんの度胸にびっくりです！？

すっかり忘れていましたが、『御神事の裏には、カラスさん
=太陽の使者(金鷄、八咫鳥)あり?!』なのでした~

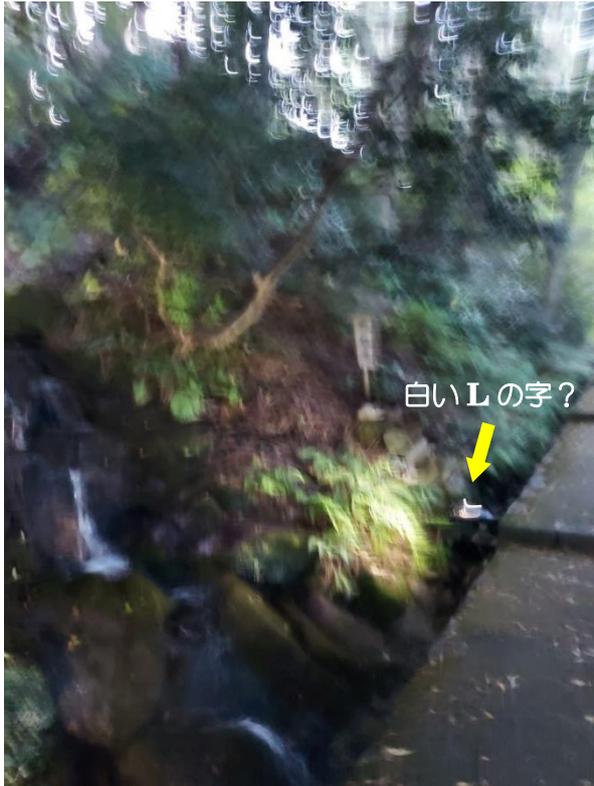


白山からの虹のエール?!^



7月4日、
準備完了し参りました!(笑)

おまけのコーナー(今月の不思議な一枚??) 7月1日、白山比咩神社琵琶滝にて撮影



上方に、白い「L」の字?がたくさん見えます?

こちらは、エネルギーの流れというより

何か、機械的(人工的)な?

物質のようなものが写っている感じです

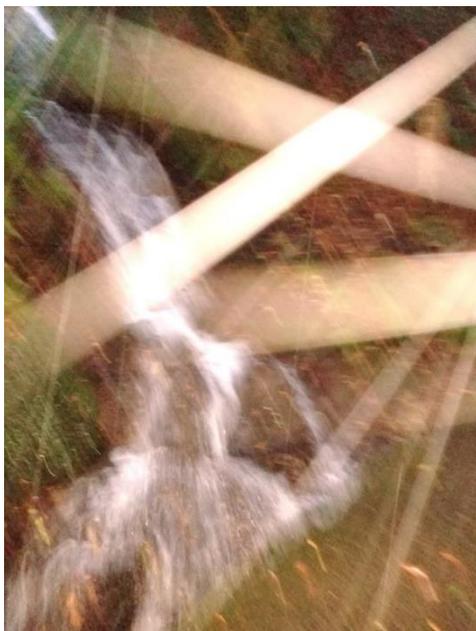
一つだけ下の方に、ポツンと写っている「L」の字?

黄色の矢印の先を拡大したのが、下記です↓

携帯電話部品の一部が

写りこんでいるのでしょうか? 一体何でしょう??

いくら眺めていてもわかりません(笑)



左記は、2019年10月12日、嵐の日の琵琶滝です

自然界に何か巨大な棒?のようなものをつっ込んで

引っ掻き回している感じ。。。?

災害は、必要不可欠な自然界の浄化作用と思っていましたが

何らかの意図によって起こされる

人工(人為的)災害も、存在するのでしょうか?

だとすれば、ここまで地上の科学が進化している証でもあり

天国を創るも、地獄を創るも

これからの私達次第、ということなのだと思います^^

愛こそが、すべてを天国へと導く、至上の力!

宇宙最高・最大のエネルギー!!!